

令和5年5月15日

大臣官房参事官(イノベーション)

## 第1回「宇宙を目指す建設革新会議」(開催案内)

## ～ 宇宙建設革新プロジェクトのキックオフ ～

「宇宙開発利用加速化戦略プログラム」(スターダストプログラム)の一環の「宇宙無人建設革新技術開発推進事業」(国交省及び文科省連携)の第1回「宇宙を目指す建設革新会議」(略称：宇宙建設革新会議)を開催します。

近い将来の月面での建設活動を目指し、地上の建設技術の基盤技術の確立に向けた研究開発として、今年度の実施事業が決定しましたので、産学官の関係者が一堂に会し、個々の研究開発とともに事業全体の推進を図ります。

- 日時： 令和5年5月18日(木) 16～18時
- 場所： TKP新橋カンファレンスセンター 16階 ホール16D  
(東京都千代田区内幸町1丁目3-1)
- 参加者： 宇宙建設革新会議委員、研究開発実施者 [別紙1]
- 次第： プロジェクト紹介(全体・個別)、推進方策意見交換、関連話題提供等

(※1 会議は原則非公開ですが、報道関係者は、冒頭のみ参加可能です。)

参加希望者は、5月17日(水)12時までに、下記問い合わせ先にご連絡ください。)

(※2 当年度から全ての実施事業が技術研究開発段階となり、併せて会議名称を「無人建設革新技術開発推進協議会」から「宇宙を目指す建設革新会議」へ変更しております。)



【問い合わせ先】 大臣官房 参事官(イノベーション) グループ 施工企画室  
企画専門官 増、課長補佐 吉田、施工企画係長 日出山

TEL : 03-5253-8111 (内線 22403、22434、22435) 課直通 : 03-5253-8286

E-mail : [hqt-unmanned\\_constr@ki.mlit.go.jp](mailto:hqt-unmanned_constr@ki.mlit.go.jp)

## ◆宇宙建設革新会議 委員名簿 (敬称略 20230515 時点)

## (学識者)

- 石上 玄也 慶應義塾大学 理工学部機械工学科 准教授  
 諸田 智克 東京大学大学院 理学系研究科 地球惑星科学専攻 准教授  
 松尾 亜紀子 慶應義塾大学 理工学部 教授

## (研究者)

- 山口 崇 土木研究所 技術推進本部 上席研究員  
 永井 直樹 宇宙航空研究開発機構 国際宇宙探査センター 事業推進室長  
 杉田 寛之 宇宙航空研究開発機構 宇宙探査イノベーションハブ 副ハブ長

## (行政)

- 見坂 茂範 国土交通省 大臣官房 技術調査課長  
 森下 博之 国土交通省 大臣官房 参事官 (イノベーション)  
 池田 一郎 文部科学省 研究開発局 宇宙開発利用課 宇宙利用推進室長  
 中谷 絵里 内閣府 宇宙開発戦略推進事務局 参事官補佐

## ◆令和5年度 宇宙無人建設革新技術開発推進事業 研究開発実施者

研究開発実施者 (○代表者、共同実施者)	技術研究開発名称
○鹿島建設 宇宙航空研究開発機構、芝浦工業大学	建設環境に適応する自律遠隔施工技術の開発— 一次世代施工システムの宇宙適用
○清水建設 ボッシュエンジニアリング	自律施工のための環境認識基盤システムの開発 及び自律施工の実証
○大成建設 パナソニックアドバンステクノロジー	月面適応のための SLAM 自動運転技術の開発
○有人宇宙システム	トータル月面建設システムのモデル構築
○小松製作所	デジタルツイン技術を活用した、月面環境に適 応する建設機械実現のための研究開発
○立命館大学 芝浦工業大学、東京大学大学院、横浜国立大学、港 湾空港技術研究所、アジア航測、基礎地盤コンサルタ ンツ、ソイルアンドロックエンジニアリング	月面の3次元地質地盤図を作成するための測 量・地盤調査法
○熊谷組 住友林業、光洋機械産業、加藤製作所、工学院大学	索道技術を利用した災害対応運搬技術の開発
○技研製作所	回転切削圧入の施工データを利用した、月面建 設の合理的な設計施工プロセスの提案と評価
○大林組 名古屋工業大学、レーザー技術総合研究所	月資源を用いた拠点基地建設材料の製造と施工 方法の技術開発
○清水建設 太陽工業、東京理科大学	月面インフレータブル居住モジュールの地上実 証モデル構築
○大林組 宇宙航空研究開発機構、室蘭工業大学、サカセ・ア ドテック	月面における展開構造物の要件定義および無人 設営検討の技術開発
○東京大学 九州大学、宇宙航空研究開発機構	月の縦孔での滞在開始用ベースキャンプの最小 形態と展開着床機構の開発